

第 20 回 重要文化財名古屋市東山植物園温室前館の保存及び活用に関する検討委員会の開催結果

東山植物園温室前館は、国内に現存する最古の本格的な鉄骨造温室建築である点などが評価され、平成 18 年に国の重要文化財の指定を受けています。温室前館を今後とも重要文化財として保存・活用していくことを目的に、平成 21 年度から保存修理工事の完了まで有識者による検討委員会を設置し、温室の修理方針や修理計画・展示計画などについて検討を進めています。今回、第 20 回の会議を開催しました。

【日時】 令和 3 年 3 月 24 日（木曜日）午前 10 時 00 分から 11 時 40 分

【場所】 東山動植物園 植物会館

【出席者】 (1) 検討委員会委員：5 名

瀬口哲夫氏(会長) 名古屋市立大学名誉教授

小野徹郎氏(副会長) 名古屋工業大学名誉教授 (※)

是澤紀子氏 日本女子大学家政学部住居学科准教授 (※)

溝口正人氏 名古屋市立大学大学院芸術工学研究科教授

本間和枝氏 公益財団法人宇治市公園公社顧問、元宇治市植物公園園長

(※) オンラインによる出席

(2) 国、県、市及び関係機関出席者：15 名

(3) 報道関係者：0 名

【傍聴人】 2 名

【会議内容】

○議題 1. 保存活用計画の改訂について

事務局より、保存活用計画の改訂の構成について説明し、了承を得ました。